

小布施町  
平成 20 年度 観光経済波及効果測定調査  
報告書

平成 21 年 3 月

## 目次

第1章 観光経済波及効果測定調査.....	1
1-1 観光経済波及効果測定の背景と目的.....	1
1-2 観光経済波及効果測定のプロセス.....	2
(1) 観光客実数の推計.....	2
(2) 観光客一人当りの消費額（平均値）の把握及び総観光消費額の推計.....	3
(3) 観光経済波及効果の算出.....	3
1-3 観光経済波及効果を測定するために実施する調査.....	3
(1) 主要観光施設における入込み客数把握のための調査.....	3
(2) 観光客に対する聞き取り調査.....	4
1-4 本報告書の構成 .....	5
第2章 観光客実数の推計.....	6
2-1 観光客実数推計の必要性と方法.....	6
2-2 観光施設における観光客実数の推計結果.....	7
(1) 各観測地点における平均入込み観光客数.....	7
(2) 観光客の主要観光施設への平均立寄り地点数.....	7
(3) 主要観光施設における観光客実数の推計.....	8
2-3 観光客実数の推計.....	9
(1) 主要観光施設に立ち寄らなかった観光客比率.....	9
(2) 小布施町全体の観光客実数の推計.....	9
第3章 平均観光消費額の算出及び総観光消費額の推計.....	10
3-1 平均観光消費額の算出.....	10
3-2 総観光消費額の推計.....	11
第4章 経済波及効果の算出.....	12
4-1 経済波及効果の概要.....	12
4-2 観光経済波及効果.....	13
4-3 観光経済波及効果の総括.....	15
第5章 観光客の行動分析.....	16
5-1 聞き取り調査の概要.....	16
5-2 観光客の基本情報.....	16
(1) 基本属性 .....	16
(2) 旅行形態と居住地等と来訪回数との関係.....	17
(3) 旅行形態と居住地等と消費額との関係.....	18
(4) 立寄り地点数、滞在時間、宿泊地に関する分析.....	21
(5) 小布施町を訪れたきっかけ.....	26

(6) 小布施町を訪れた目的.....	27
5-3 観光客行動分析の総括.....	29
添付資料 .....	32
聞き取り調査 調査票.....	32

# 第1章 観光経済波及効果測定調査

## 1-1 観光経済波及効果測定の背景と目的

「統計でみる小布施町の姿（平成19年度版）」によると、平成17年における小布施町の産業構造は、表1-1に示すように第三次産業従事者数が全就業者数の48.2%を占めており、町の主要産業として位置づけられる。第三次産業内における従業員数は、「卸・小売業」が最も多く、次に「飲食店・宿泊業」となっている<sup>1</sup>。

生産額に関しても、表1-2に示すように年間商品販売額（商業）が最も高く、農業産出額の約4.0倍、製造品出荷額等の1.2倍となっている。

表 1-1 産業別就業者数の推移

産業		昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
第一次産業	度数(人)	2,368	2,009	1,955	1,945	1,843	1,699	1,587	1,592
	割合(%)	41.3	34.8	32.3	31.3	28.1	25.5	23.6	23.9
第二次産業	度数(人)	1,578	1,786	1,913	2,121	2,194	2,277	2,149	1,865
	割合(%)	27.5	30.9	31.6	34.1	33.5	34.2	31.9	27.9
第三次産業	度数(人)	1,783	1,978	2,178	2,158	2,513	2,691	3,002	3,218
	割合(%)	31.1	34.3	36.0	34.7	38.4	40.4	44.6	48.2

出典:「統計でみる小布施の姿」平成19年度版

表 1-2 産業別生産額

産業	金額(万円)	備考
農業	282,524	平成18年、農業産出額
工業	951,092	平成17年、製造品出荷額等
商業	1,137,771	平成16年、年間商品販売額

この小布施町の商業を支えているのが観光である。小布施町では、北斎館をはじめとする多くの美術館・文化施設、町の文化や歴史や建造物を活かした町並み景観の整備を積極的に進めてきた。その結果、北斎館がオープンした昭和51年以降、順調に観光客が増加しており、平成9年度のピーク時には延人数で約95万人（主要観光施設<sup>2</sup>の入館者数）が訪れる、長野県内でも有数の観光地として成長した。観光客数の増加に伴い、観光客にサービスを提供する、商業をはじめとした第三次産業従事者が年々増加してきた。

しかし、平成10年度から主要施設の入館者数は一貫して減少傾向にあり、平成18年度にはピーク時の約63%である約60万人にまで減少していることから、観光客数も大幅に減少していると推測させる。

主要施設の入館者数の減少（観光客数の減少）は、主要産業である商業をはじめとした

<sup>1</sup> 出典：統計でみる小布施町の姿（平成19年度版）

<sup>2</sup> 主要観光施設：北斎館、高井鴻山記念館、日本のあかり博物館、岩松院、おぶせミュージアム・中島千波館、フローラルガーデンおぶせ、千曲川ハイウェイミュージアム

観光に関連する産業に大きな影響を与えていると考えられ、産業振興や雇用の安定などの面から、小布施町としても何らかの対応が求められると言える。

しかし、現在、観光統計では観光の地域経済に与える影響や観光客実数などが測定されておらず、政策を検討する上で必要な情報が整備されていない。

そこで、小布施町における今後の観光政策を検討する際に必要となる、観光が町に与える経済的な影響力を把握するために「観光経済波及効果測定調査」（以下、本調査）を実施した。

## 1-2 観光経済波及効果測定のプロセス

観光が地域経済に与える影響、すなわち「観光経済波及効果」を測定するプロセスを以下に示す（図 1-1 参照）。

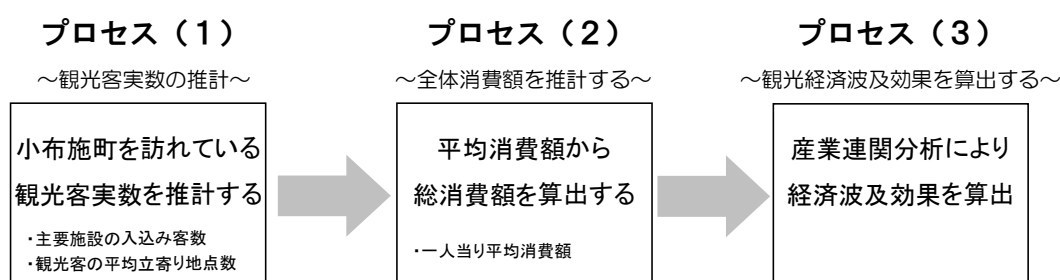


図 1-1 観光経済波及効果測定のプロセス

### (1) 観光客実数の推計

年間を通じて小布施町を訪れる観光客の実数を推計する。推計方法は、社団法人日本観光協会が提唱する「全国観光客数統計基準」に準拠する。

推計の概要を以下に示す。

#### ① 主要観光施設における入込み客数の把握

小布施町内の主要観光施設において、春夏秋冬の各シーズンにおける代表月の入込み客数を把握する（小布施町を訪れる観光客の延人数を把握）。

#### ② 観光客の立寄り地点数の把握

観光客に対し、聞き取り調査を行い、何箇所の観光施設に立ち寄ったかを把握する。これにより、観光客一人当たりどのくらいの観光施設に立ち寄るか（平均立寄り地点数）が明らかになる。

### ③ 観光客実数の算出

①で把握した観光客延人数を、②で把握した平均立寄り地点数で除することにより、観光客実数を算出する（推計値）。

### (2) 観光客一人当りの消費額（平均値）の把握及び総観光消費額の推計

観光客に対し、聞き取り調査を行い、観光客一人当たりどの程度の消費活動を行っているかを把握する。これにより、観光客一人当りの平均消費額を算出する。

この平均消費額に「(1) 観光客実数の推計」で求めた、観光客実数をかけ合わせることで、観光客の小布施町における総消費額を推計する。

### (3) 観光経済波及効果の算出

「(2) 観光客一人当りの消費額（平均値）の把握及び総観光消費額の推計」で求めた、総観光消費額から小布施町における観光経済波及効果を算出する。

算出は、「平成12年 長野県産業連関表 報告書」を活用し、産業連関分析により行う。

## 1-3 観光経済波及効果を測定するために実施する調査

「1-2 観光経済波及効果算出のプロセス」に示したように、観光経済波及効果を算出するためには、「主要観光施設における入込み客数の把握のための調査」及び「観光客に対する聞き取り調査」を実施する必要がある。それぞれの調査の概要を以下に示す。

### (1) 主要観光施設における入込み客数把握のための調査

表 1-3 に示す町内の主要観光施設において、春夏秋冬の各シーズンに1ヶ月代表月を設定し、その間の入込み客数を全て把握した。ハイウェイオアシスは、「食事処」、「土産処」、「屋台」におけるレシート枚数<sup>3</sup>から、それ以外各施設は入館チケットの販売数を入込み客数として設定した。

表 1-3 調査対象主要観光施設及び実施月

観測地点	カウント方法	カウント実施月
北斎館	入館チケット販売数	5月（春）、8月（夏）10月（秋）、2月（冬）
岩松院	入館チケット販売数	5月（春）、8月（夏）10月（秋）、2月（冬）
高井鴻山記念館	入館チケット販売数	5月（春）、8月（夏）10月（秋）、2月（冬）
日本のあかり美術館	入館チケット販売数	5月（春）、8月（夏）10月（秋）、2月（冬）
おぶせミュージアム	入館チケット販売数	5月（春）、8月（夏）10月（秋）、2月（冬）
フローラルガーデンおぶせ	入館チケット販売数	5月（春）、8月（夏）10月（秋）、2月（冬）
ハイウェイオアシス	店内レジのレシート発行数	5月（春）、8月（夏）10月（秋）、2月（冬）

<sup>3</sup> 客単価などの把握が不可能であったため、このような方法を用いた。

## (2) 観光客に対する聞き取り調査

表 1-4 に示す町内における主要観光施設において、平日と休日それぞれ 2 日間ずつ、観光客に直接聞き取り調査を実施した。有効回答数は 3,080 であった。主な調査項目は、町内の観光施設の立寄り地点数と消費額である。調査項目を表 1-5 に示す。

表 1-4 調査実施地点と実施日、回収枚数

調査実施時期		岩松院	北斎館	ハイウェイオアシス	合計
春	平日 (5月30日・6月11日)	61	143	90	294
	休日 (5月18日・6月1日)	86	270	139	495
	合計	147	413	229	789
夏	平日 (8月11日・8月18日)	57	102	96	255
	休日 (8月10日・9月7日)	78	212	120	410
	合計	135	314	216	665
秋	平日 (10月20日・10月27日)	83	156	136	375
	休日 (10月26日・11月8日)	65	259	135	459
	合計	148	415	271	834
冬	平日 (2月13日・2月16日)	70	139	84	293
	休日 (2月15日・2月21日)	74	292	133	499
	合計	144	431	217	792
合計		574	1,573	933	3,080

表 1-5 聞き取り調査項目

質問番号	内容
問1	① 立寄り地点、宿泊地、宿泊日数、到着曜日、小布施町来訪予定有無
	② 小布施町への交通手段
	③ 旅行形態、旅行代理店利用有無
	④ 同伴者、同伴者人数
	⑤ 小布施町来訪回数
	⑥ 小布施町での滞在時間
	⑦ 小布施町内立寄り観光施設 (予定含む)
問2	① 小布施町来訪のきっかけ
	② 小布施町来訪理由【自由回答】
問3	① 自身で負担した公共交通費 (往復)
	② 自身で負担した交通関係費
	(1)自身で負担したガソリン代
	(2)自身で負担したツアー料金
	(3)自身で負担した駐車場代
	③ 小布施町内における宿泊費
	④ 小布施町内における飲食費
	⑤ 小布施町内における施設利用料金
	⑥ 小布施町内における製品や産品などの購入費
(1)野菜・果物などの農作物や花きの購入	
(2)菓菓子などの購入	
(3)酒など食料品の購入	
(4)その他の製品や産品などの購入	
⑦ その他サービスの利用	
⑧ ハイウェイオアシス利用店舗	
問4	小布施町への意見・要望【自由回答】
問5	① 性別
	② 年齢
	③ 居住地 (都道府県・市区町村)
	④ 職業

## 1-4 本報告書の構成

本報告書は5章からなる。

1章では観光経済波及効果測定調査の概要を示す。

2章では観光客実数の推計結果について示す。

3章では総観光消費額の推計結果について示す。

4章では経済波及効果の算出結果について示す。

5章では、「聞き取り調査」のまとめとして、観光客の属性情報などについて示す。

## 第2章 観光客実数の推計

### 2-1 観光客実数推計の必要性と方法

これまで、小布施町における観光客数は、主要観光施設への入館者数の延人数として把握され、観光客実数の把握は行われていなかった。主要観光施設への入館者数の延人数とは、例えば一人の観光客が3箇所の観光施設に立ち寄れば、観光客数は3人とカウントされ、実際に小布施町を訪れた人数よりも多く記録されてしまう。また、観光施設に立ち寄らない観光客は把握できない。つまり、これまでの手法では実際に訪れた観光客数（観光客実数）が不明であり、観光客実数が不明だと、道路や駐車場、観光施設などを整備する際のキャパシティを正確に見積もることができない。また、経済波及効果の算出に代表される地域経済への影響を測定できないなどの課題が発生する。このように、観光政策を検討する上で観光客実数を把握することは必要不可欠と言える。そこで、本調査では第1章に示した方法により、観光客実数を把握した（図2-1参照）。

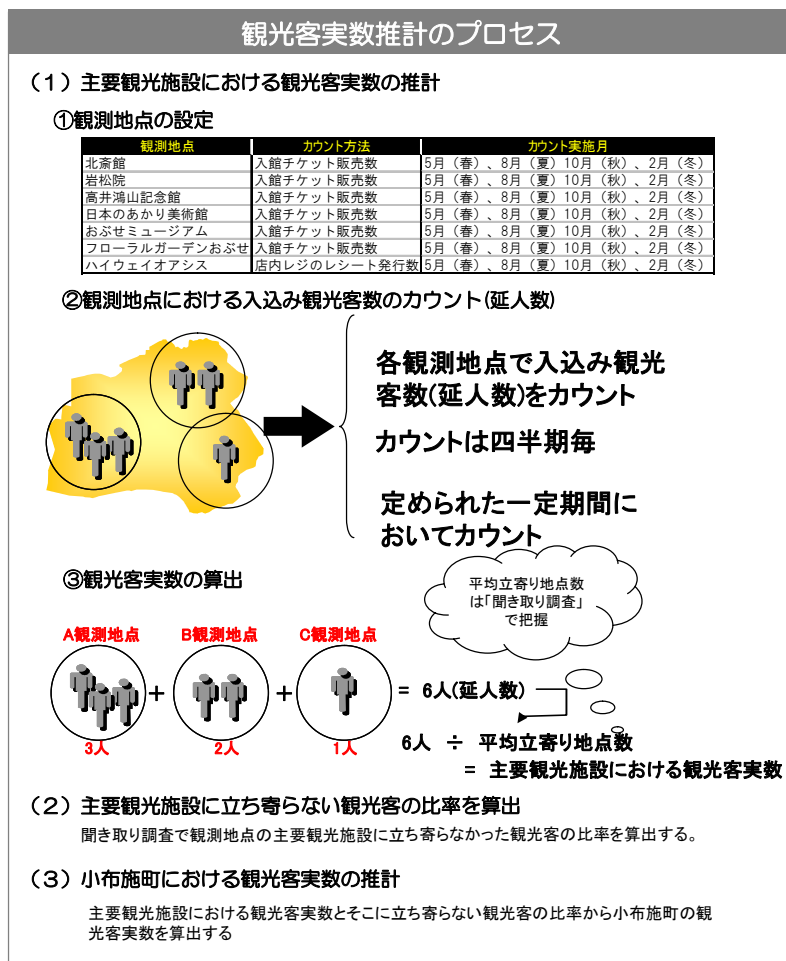


図 2-1 観光客実数推計のプロセス

## 2-2 観光施設における観光客実数の推計結果

### (1) 各観測地点における平均入込み観光客数

表 2-1 は各季節における観測地点の平日及び休日の平均入込み観光客数を示している。平均入込み観光客数は、各観測地点における観光客数のカウントを実施した月の 1 日当り平均の延来館者数（ハイウェイオアシスでは延購買者数）を示している。推計の精度を向上させるため、平日と休日を分けて集計している。どの季節、どの施設においても平日より休日の平均入込み観光客数が多い結果となった。また、秋が最も多く、次いで夏、春に観光客が訪れている。

表 2-1 主要観光施設（観測地点）における平均入込み観光客数

季節	区分	北斎館	岩松院	高井鴻山 記念館	日本のあかり 美術館	おふせ ミュージアム	フローラルガーデン おふせ	ハイウェイオアシス	合計
春(4月～6月)	平日	502	313	151	50	126	92	542	1,775
	休日	1,085	686	354	109	302	254	2,538	5,328
夏(7月～9月)	平日	614	355	214	60	175	43	1,082	2,545
	休日	969	550	328	106	272	75	2,643	4,944
秋(10月～12月)	平日	880	608	239	71	159	81	674	2,711
	休日	1,580	1,033	448	112	347	360	2,645	6,524
冬(1月～3月)	平日	141	80	49	13	32	8	486	809
	休日	291	174	87	23	88	20	1,852	2,535
全体		6,061	3,801	1,872	544	1,502	932	12,460	27,172

### (2) 観光客の主要観光施設への平均立寄り地点数

表 2-2 は各季節における観光客の主要観光施設平均立寄り地点数を示している。平均立寄り地点数の算出は、観光客ひとり一人が小布施町内において立ち寄った観光施設数を「聞き取り調査」により把握し、平均化したものである。調査の結果、春の平日が最も平均立寄り地点数が多く 1.68 となっている。

今回の調査では、休日より平日の平均立寄り地点数が多かった。また、四季を通じて（全体）の平均立寄り地点数は、1.46 となった。

表 2-2 観光客の主要観光施設への平均立寄り地点数

立寄り季節	区分	平均値	標準偏差
春(4月～6月)	平日	1.68	1.40
	休日	1.45	1.06
夏(7月～9月)	平日	1.53	1.12
	休日	1.42	1.08
秋(10月～12月)	平日	1.54	1.18
	休日	1.37	0.93
冬(1月～3月)	平日	1.39	0.87
	休日	1.35	1.02
全体		1.46	1.09

表 2-3 はハイウェイオアシス内での平均立寄り地点数（食事処、土産処、屋台の内、買物を行った場所）を示している。ハイウェイオアシスにおける観光客数のカウントは店内におけるレシートの発行枚数で代替しているため、平均立寄り地点数も店内のどの施設において買物したかを聞き取り調査により把握し、平均化した。

今回の調査では、冬の休日が 1.46 で最も多く、四季を通じての平均立寄り地点数は、1.31 となった。

表 2-3 ハイウェイオアシス内での平均立寄り地点数

立寄り季節	区分	平均値	標準偏差
春(4月～6月)	平日	1.22	0.42
	休日	1.29	0.51
夏(7月～9月)	平日	1.28	0.48
	休日	1.23	0.44
秋(10月～12月)	平日	1.28	0.48
	休日	1.36	0.54
冬(1月～3月)	平日	1.30	0.46
	休日	1.46	0.54
全体		1.31	0.49

### (3) 主要観光施設における観光客実数の推計

これまで算出してきた、季節、平日休日毎の平均入込み観光客数に平日及び休日の日数をかけ、その数値を平均立寄り地点数で除することで観光客実数の推計値を算出した。推計結果を表 2-4 に示す。推計の結果、小布施町を訪れる観光客実数は 663,958 人となり、最新の統計がある平成 18 年度の主要観光施設における観光客数の総計 604,487 人より、約 6 万人多い結果となった。

表 2-4 主要観光施設における観光客実数の推計結果<sup>4</sup>

季節	区分	日数	平均入込み 観光客数	観光施設における 観光客実数	季節別総計
春(4月～6月)	平日	62	997	61,801	156,888
	休日	29	3,279	95,087	
夏(7月～9月)	平日	58	1,511	87,630	194,095
	休日	34	3,131	106,464	
秋(10月～12月)	平日	59	1,665	98,237	238,626
	休日	33	4,254	140,389	
冬(1月～3月)	平日	59	502	29,592	74,349
	休日	31	1,444	44,757	
全体		365	16,782	663,958	663,958

※観光客実数、季節別総数は小数点以下を四捨五入して表示

<sup>4</sup> 「日数」には平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日までの平日及び休日数を示している。また、夏休みを 8 月 9 日～17 日まで、正月休みを 12 月 27 日～1 月 4 日までとした。

## 2-3 観光客実数の推計

### (1) 主要観光施設に立ち寄らなかった観光客比率

表 2-5 は主要観光施設に立ち寄らなかった観光客の比率を示している。13.2%の観光客が観光客数観測地点である主要観光施設に立ち寄っていない。

表 2-5 主要観光施設非立寄り比率

区分	度数	比率
主要観光施設立寄り者	2,509	86.8%
主要観光施設非立寄り者	382	13.2%
全体	2,891	100.0%

### (2) 小布施町全体の観光客実数の推計

小布施町全体の観光客実数（以下、特に断りがない場合は、観光客実数と表記）は、主要観光施設における観光客実数を主要観光施設立寄り比率で除することで求められる（図 2-2 参照）。その結果、観光客実数は、765,047 人となった。

$$\text{観光客実数} = \text{主要観光施設観光客実数} + \text{主要観光施設に立ち寄らなかった観光客実数} \quad (\text{式：1})$$

$$\text{主要観光施設に立ち寄らなかった観光客実数} = \text{観光客実数} \times \text{主要観光施設に立ち寄らなかった観光客比率} \quad (\text{式：2})$$

$$\text{観光客実数} = \text{主要観光施設観光客実数} + (\text{式：2}) \quad (\text{式：3})$$

∴

$$\text{観光客実数} = \text{主要観光施設観光客実数} / \text{主要観光施設に立ち寄った観光客比率} \quad (\text{式：4})$$

図 2-2 観光客実数の算出式

## 第3章 平均観光消費額の算出及び総観光消費額の推計

### 3-1 平均観光消費額の算出

「聞き取り調査」から観光客が何をどのくらい購入しているかを把握した。

購入物の分類は「平成12年長野県産業連関表」に示される「統合大分類（32部門表）」に基づき行った。集計結果を表3-1に示す。なお、表では統合大分類の内、全く消費が見られなかった分類（鉄鋼や建設など）は、見やすさを考慮して表示していない。

「聞き取り調査」により把握した観光消費額は46,887,359円となった。最も消費が多い分類は「運輸」で、公共交通の料金やツアー代などが該当する。次いで、「対個人サービス」で主に飲食費、美術館等の入館料などが該当する。

「聞き取り調査」により把握した観光消費額を調査回答者数で除することで、一人当たり平均観光消費額が算出される。調査回答者（有効回答数）は、第1章に示すように3,080人であるので、一人当たりの平均観光消費額は、15,223円となった。

表 3-1 観光客一人当たりの平均観光消費額

部門分類	内容	消費額(円)	平均消費額(円)
01 農 林 水 産 業	野菜・果物などの農作物や花き	1,030,435	335
03 食 料 品	菓子、酒などの食料品	4,709,604	1,529
07 石 油 ・ 石 炭 製 品	ガソリン代	2,543,504	826
16 その他の製造工業製品	キーホルダーやおもちゃ、文具など	651,253	211
22 不 動 産	駐車場代	180,202	59
23 運 輸	公共交通料金、ツアー料金、タクシー料金など	31,964,152	10,378
30 対 個 人 サ ー ビ ス	飲食サービス【喫茶・飲食店・出店】、宿泊サービス【旅館・ホテル】、美術館・博物館などの施設入館/拝観料、温泉、温浴施設の利用料、スポーツ施設やカラオケなどの遊技場利用料	5,808,209	1,886
合計		46,887,359	15,223

平均消費額は小数点以下を四捨五入して表示

### 3-2 総観光消費額の推計

総観光消費額の推計は、一人当りの平均観光消費額に、2章で求めた観光客実数をかけることにより行う。具体的には、一人当たり平均観光消費額である、15,223 円に観光客実数の推計値である 765,047 人をかけ合わせる。

推計結果を表 3-2 に示す。本調査では、小布施町において1年間で観光客が消費する金額は約 116 億 5 千万円と推計された。

表 3-2 総観光消費額

	部門分類	消費額(円)	平均消費額(円)	全体消費額(円)
01	農 林 水 産 業	1,030,435	335	255,951,744
03	食 料 品	4,709,604	1,529	1,169,827,654
07	石 油 ・ 石 炭 製 品	2,543,504	826	631,785,882
16	その他の製造工業製品	651,253	211	161,765,993
22	不 動 産	180,202	59	44,760,724
23	運 輸	31,964,152	10,378	7,939,637,588
30	対 個 人 サ ー ビ ス	5,808,209	1,886	1,442,712,276
	合計	46,887,359	15,223	11,646,441,861

※全体消費額は、平均消費額、観光客実数ともに実数値で計算し、算出された値の小数点以下を四捨五入している。

## 第4章 経済波及効果の算出

### 4-1 経済波及効果の概要

“消費”と“生産”は表裏一体と言える。“生産”活動があるから“消費”が生まれ、“消費”が発生するから“生産”活動が行われる。つまり、経済活動は消費と生産が互いに“連関”しあって活動が螺旋状に成長していく。これを、経済の波及効果という。例えば、「栗おこわ」に対する需要（消費）が発生すると、その栗おこわを生産するために、原材料である栗やもち米、材料を加工するための調理器具や燃料、調理人、販売するための店員など様々な財やサービスが必要となる。これは、「栗おこわ」を購入するという消費活動（経済活動）が第一次産業から第三次産業の様々な部門の生産活動に影響を与えていることを示している。この産業間の関係を示したものが「産業連関表」である。

産業連関表とは、一定期間における特定地域(本分析では長野県)の産業間の財やサービスの移動実態を一覧表で表したもので、行方向は、ある産業で生産された財やサービスが「どの産業へ」、「どれだけ販売されたか」を示し、列方向は、ある産業が財やサービスを生産するのに「どの産業から」、「どれだけ原材料を購入したか」を示している。

産業連関表を用いて、最終需要に対する全産業の生産額を算出することを産業連関分析といい、経済波及効果を算出する際に、よく用いられる分析方法である。

産業連関分析では、特定の産業への需要の増加を「初期需要（初期投資）」、経済構造が均衡するまでに各産業に起きる生産量の増減を「生産誘発額」と呼ぶ。生産誘発額は、初期需要が直接生み出した生産活動（金額ベース）を「直接生産誘発額」、直接生産誘発額が生み出した生産活動（金額ベース）を「1次生産誘発額」、1次生産誘発額が生み出した生産活動（金額ベース）を「2次生産誘発額」と言う。

観光がもたらす経済効果に当てはめると、初期需要は、3章で算出した「総観光消費額」に相当する。

本章では、観光客によってもたらされた初期需要が、小布施町経済にどれだけの波及効果をもたらしているかを、産業連関分析を用いて検証する。なお、本章における分析では、2次生産誘発額までを算出する。表 4-1 に経済効果算出のプロセスを示す。

表 4-1 経済効果算出（産業連携分析）のプロセス

効果	No	プロセス名	内容	備考
直接効果	1	初期需要の把握	「聞き取り調査」における平均観光消費額×観光客実数の推計値	
	2	格付け	初期需要を、産業連関表に示された部門別に割り振る	
	3	マージン処理(再格付け)	商業マージン率×部門別初期需要、輸送マージン×部門別初期需要算	平成12年長野県産業連関表では、マージン表がないため、全国表を用いる。商業マージン、輸送マージンはそれぞれの部門に振り分ける。この作業で、購入者価格を生産者価格に転換する
	4	直接生産誘発額算出	プロセス3×自給率	域内(小布施町)調達率が不明なため、長野県の自給率に従った
	5	直接粗付加価値額算出	プロセス4×粗付加価値率	直接生産誘発額の域内(長野県内)における付加価値額を算出
	6	直接雇用者所得額算出	プロセス4×雇用者所得率	直接生産誘発額の内、雇用者所得に振り分けられた額を算出
1次波及効果	7	中間投入額算出	投入係数×プロセス4×自給率	プロセス4に投入係数をかけることにより直接生産誘発額の波及分を算出。つまりΔF(増加した需要分)を算出
	8	1次生産誘発額算出	レオンティエフ逆行列×ΔF	
	9	1次粗付加価値額算出	プロセス8×粗付加価値率	1次生産誘発額の域内(長野県内)における付加価値額を算出
	10	1次雇用者所得額算出	プロセス8×雇用者所得率	1次生産誘発額の内、雇用者所得に振り分けられた額を算出
2次波及効果	11	消費支出算出	(プロセス6+プロセス10)×平均消費性向	雇用者所得の内、消費に振り分けられる額を算出。平均消費性向は長野市の消費性向の9年分(H10~18年)の平均
	12	部門別消費額算出	プロセス11×消費ベクトル×自給率	消費ベクトルは各部門の民間最終消費支出の構成比
	13	2次生産誘発額算出	レオンティエフ逆行列×プロセス12	
	14	2次粗付加価値額算出	プロセス13×粗付加価値率	2次生産誘発額の域内(長野県内)における付加価値額を算出

## 4-2 観光経済波及効果

表 4-2 に経済波及効果の算出結果を示す。

直接生産誘発額（総観光消費額が生み出した金額ベースの生産活動）は約 67.9 億円で、このうち約 18.7 億円が雇用者所得に振り分けられ、1 次生産誘発額（直接生産誘発額が生み出した金額ベースの生産活動）は約 22.2 億円で、このうち約 6.6 億円が雇用者所得に振り分けられた。また、2 次生産誘発額（1 次生産誘発額が生み出した金額ベースの生産活動）は、約 15.0 億円となった。

つまり、観光による経済波及効果は、これら生産誘発額の合計額である約 105.2 億円で、この内、約 25.3 億円は雇用者所得に振り分けられたと言える。

表 4-2 経済波及効果算出結果

単位：万円

効果	生産誘発額	粗付加価値誘発額	
			うち雇用者所得誘発額
直接生産誘発額	679,141	343,252	187,433
1次生産誘発額	221,574	133,795	65,638
2次生産誘発額	150,906	103,252	----
合計	1,051,622	580,299	253,071

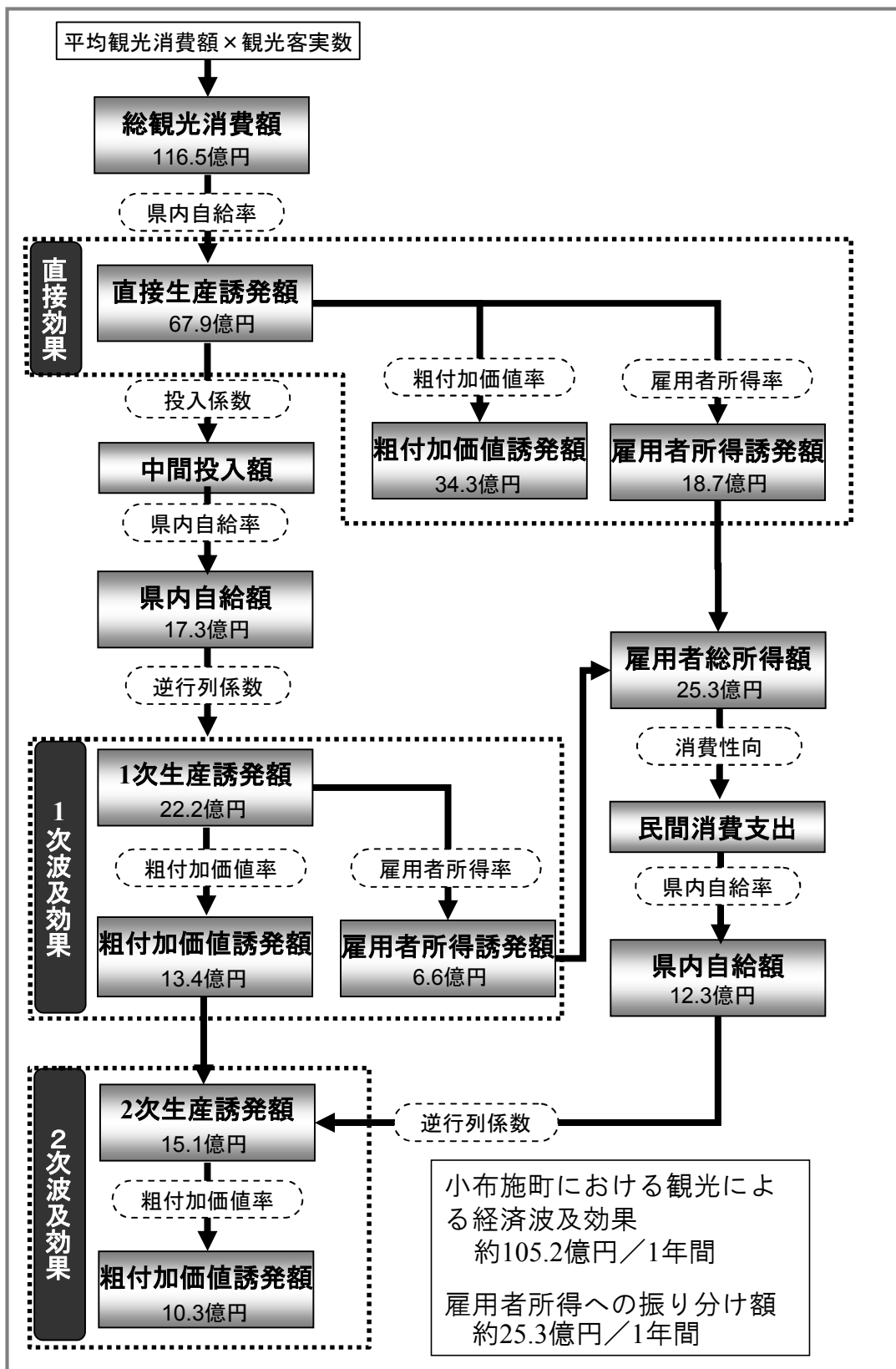


図 4-1 観光経済波及効果のフロー図

### 4-3 観光経済波及効果の総括

今回の調査では、小布施町を訪れる観光客は1年間で約116.5億円の消費活動をしていることが明らかになった。この金額は平成16年の年間商品販売額約113億円の103%に達している。しかし、観光消費の内訳は、小布施町への経済効果が少ない（自給率が低い）「運輸部門」（公共交通料金やツアー代）が70%近くを占めており、そのため、町内で直接的に消費される金額は67.9億円となっており、観光消費は十分な波及効果を生み出していないと言える。つまり、小布施町の観光は、町外の事業者が小布施町の観光コンテンツを活用して、町外に利益を発生させる仕組みになっているため、観光消費額の4割近く<sup>5</sup>が町外に流れている。観光による経済効果を高くしていくためには、町内自給率の高い分野<sup>6</sup>に観光消費を向けることが重要である。

---

<sup>5</sup> 「運輸部門」の県内自給率が6割程度であるため。

<sup>6</sup> 平成12年長野県産業連関表によると、県内自給率が高い業種は、対個人サービス（飲食・旅館など）と地元住民が雇用される業種が高くなっている。これを小布施町に置き換えると、宿泊サービスの拡大や建設業などの観光業への転換、農村における観光サービスの開発などを行うことにより、小布施町で直接的に消費させる金額が増えると考えられる。

## 第5章 観光客の行動分析

### 5-1 聞き取り調査の概要

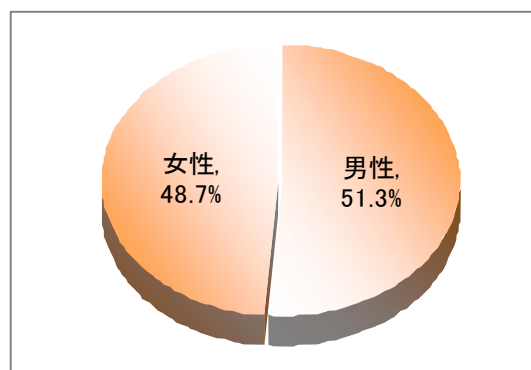
「聞き取り調査」は、観光客実数及び経済波及効果を算出するために必要な情報を収集することを目的に実施した。また、これらの情報に加え、観光客の行動などを把握するため、属性情報や観光行動などについても併せて聞き取りを行った。本章では、それらをまとめる。なお、聞き取り調査の実施時期、質問項目などは表 1-5 を参照のこと。

### 5-2 観光客の基本情報

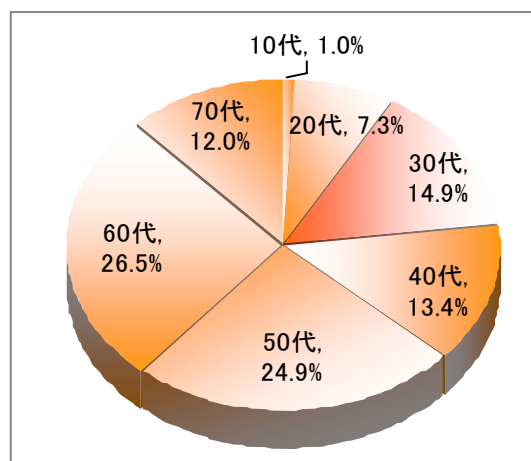
#### (1) 基本属性

観光客の基本属性について、以下の各表に示す。

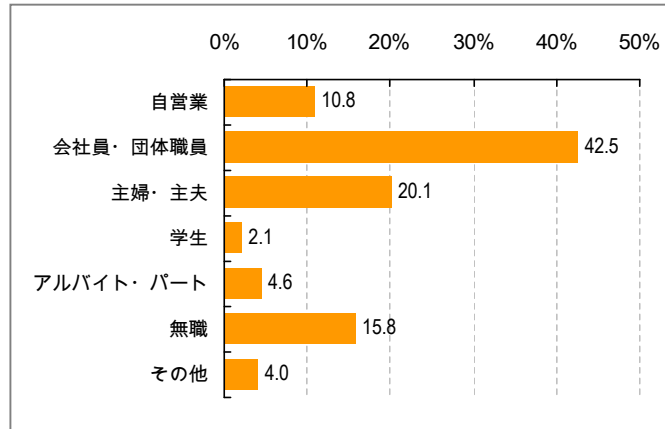
性別	度数(人)	割合(%)
男性	1,568	51.3
女性	1,489	48.7
合計	3,057	100.0



年代	度数(人)	割合(%)
10代	29	1.0
20代	222	7.3
30代	455	14.9
40代	410	13.4
50代	759	24.9
60代	810	26.5
70代	366	12.0
合計	3,051	100.0



職業	度数(人)	割合(%)
自営業	329	10.8
会社員・団体職員	1,290	42.5
主婦・主夫	610	20.1
学生	65	2.1
アルバイト・パート	139	4.6
無職	480	15.8
その他	122	4.0
合計	3,035	100.0



## (2) 旅行形態と居住地等と来訪回数の関係

居住地やリピート回数、年代などでの消費傾向を表 5-1 にまとめる。

来訪回数<sup>7</sup>は県内個人旅行が最も多く、6.9 回となっている。また、県外の個人旅行でも 4.0 とリピート回数は高い。最も来訪回数が少ない、県外の団体旅行でも平均値が 2.0 を超えており、今回の調査においては小布施町観光ではリピート回数が高いことが確認された。

同伴者人数は、県内より県外が多くなる傾向にあり、県外の団体旅行が最も多い結果となった。

表 5-1 旅行形態と居住地、同伴者数、来訪回数の関係 (平均値)

旅行形態	居住地	同伴者数	来訪回数
個人旅行	県内	3.3	6.9
	県外	3.6	4.0
	全体	3.6	4.4
団体旅行	県内	15.0	4.9
	県外	24.4	2.6
	全体	24.5	2.6

※参考：他地域の平均来訪回数

	平均値	標準偏差
小布施町	3.91	3.41
上高地	3.74	3.17
美ヶ原温泉	3.45	2.91
松本城	3.21	2.68
浅間温泉	2.98	2.52
黒部ダム	1.95	1.78

※特定非営利活動法人 SCOP 調べ

<sup>7</sup> 来訪回数は、10 回以上となっている回答は、便宜上 10 回とカウントして平均値を算出した。

### (3) 旅行形態と居住地等と消費額との関係

#### (ア) 観光客の属性と消費傾向

表 5-2 に旅行形態別の平均消費額を示す。平均消費額で重要となるのは、町内経済に直接影響を与える「町内消費」である<sup>8</sup>。町内消費は、個人旅行より団体旅行の方がやや多くなっているが、大きな差はない。

表 5-2 旅行形態別の平均消費額

単位：円

消費カテゴリ	旅行形態	平均消費額
交通費	個人旅行	1,186
	団体旅行	9,291
	平均	1,780
町内消費	個人旅行	2,228
	団体旅行	2,988
	平均	2,284

表 5-3 に観光客の居住地別の平均消費額を示す。町内消費は、県内居住者より県外居住者の方が 2 倍近く多くなっている。小布施町には県内からの観光客(リピーター)が多い傾向にあるが、消費は 1/2 程度と言え。つまり、経済効果的には、県外観光客は県内観光客の 2 倍程度あると言える。

表 5-3 観光客の居住地と平均消費額

単位：円

消費カテゴリ	居住地	平均消費額
交通費	長野県居住者	1,767
	県外居住者	13,743
	平均	11,306
町内消費	長野県居住者	2,330
	県外居住者	4,485
	平均	4,047

表 5-4 に観光客の来訪回数別の平均消費額を示す。町内消費は、来訪回数が増えるほど減少する傾向にある。ただし、相関分析を行った結果、来訪回数と平均消費額との相関はほとんどないという結果になった。

表 5-4 来訪回数と平均消費額

単位：円

消費カテゴリ	来訪回数	平均消費額
交通費	1回	14,906
	2回	12,490
	3回	13,559
	4回以上	6,486
	平均	11,249
町内消費	1回	4,442
	2回	4,166
	3回	3,975
	4回以上	3,641
	平均	4,048

<sup>8</sup> 町内消費の内訳は、宿泊費を含むお土産物代や飲食などである。今回、全回答者(有効回答のみ)平均の交通費は、11,204 円、町内消費額は、4,019 円である。

表 5-5 に観光客の年代別の平均消費額を示す。町内消費は、50 代まで上昇しその後、減少している。小布施町の観光客は 50 代が多いのでこの層が、小布施町観光における主たる消費層と言える。

また、年代が上がるほど交通費の額が上昇しているのは、ツアー参加者が増えているためと考えられる。

表 5-5 年代と平均消費額

単位：円

消費カテゴリ	年代	平均消費額
交通費	10代	5,605
	20代	6,385
	30代	5,633
	40代	8,010
	50代	11,837
	60代	14,969
	70代	16,059
	平均	11,279
町内消費	10代	1,499
	20代	2,864
	30代	3,130
	40代	4,457
	50代	5,141
	60代	4,146
	70代	3,016
	平均	4,030

表 5-6 に観光客の宿泊地別の平均消費額を示す。町内消費は、日帰り観光客が最も少なく、約 3,200 円、小布施外の宿泊者で約 4,300 円、小布施宿泊者で約 20,000 円となっており、宿泊における経済効果が非常に高いことを示している。

表 5-6 宿泊地と平均消費額<sup>9</sup>

単位：円

消費カテゴリ	宿泊地	平均消費額
交通費	非宿泊	6,756
	小布施外宿泊	15,325
	小布施宿泊	14,698
	平均	11,204
町内消費	非宿泊	3,215
	小布施外宿泊	4,311
	小布施宿泊	19,983
	平均	4,019

<sup>9</sup> 表 5-6 は、全有効回答が対象になるため、本表における「平均」は回答者全員（有効回答のみ）の平均と一致する。

(イ) 平均飲食消費額と旅行形態、居住地、訪問回数、年代、宿泊地の関係

表 5-7 に各種属性と平均飲食消費額の関係を示す。飲食消費は、小布施における観光行動を勘案すると、主に昼食代と喫茶代からなると考えられる。

旅行形態別では、個人旅行の方が消費額は多い。これは、団体旅行の多くの場合、ツアー料金に昼食費が含まれているためと考えられる。居住地別には、県外居住者の方が飲食の消費額が多く、来訪回数では特に差は見られない。年齢別では、30～60代までの消費額が多い。また、宿泊地別に見ると、小布施町に宿泊した場合の飲食費が圧倒的に多い。

以上のことから、飲食消費額を増加させるためには、宿泊施設の拡充がもっとも重要であることがわかる。また、すでに昼食が決まってしまうと推察される団体旅行者には手軽な喫茶を、飲食消費額の少ない若年層には、低価格な昼食メニューを提案することなどが、今後の展開としては考えられる。

表 5-7 属性別の飲食消費額の平均<sup>10</sup>

区分	区分内容	飲食消費額	区分	区分内容	飲食消費額
旅行形態	個人旅行	1,343	年代	10代	609
	団体旅行	463		20代	896
	平均	1,117		30代	1,101
居住地	長野県居住者	897		40代	1,122
	県外居住者	1,188		50代	1,348
	平均	1,125		60代	1,138
来訪回数	1回	1,124		70代	795
	2回	1,175	平均	1,120	
	3回	903	宿泊地	非宿泊	991
	4回以上	1,164		小布施宿外泊	1,188
	平均	1,122		小布施宿泊	3,169
		平均		1,121	

(ウ) 町内における平均消費額と立寄り地点数、滞在時間、来訪回数の関係

町内における平均消費額と立寄り地点数、滞在時間、来訪回数の関係を把握するために、相関分析及び重回帰分析を実施した。相関分析の結果、平均消費額とそれぞれの項目間に相関は認められなかった。また、重回帰分析においても、意味のある分析結果が認められなかった。

このことは、立寄り地点数や滞在時間を延伸しても、消費が望めない可能性があることを示している。ただし、今回の調査では、小布施町で宿泊する観光客がほとんどいなかったため、このような結果になっていると考えられる。

<sup>10</sup> 表 5-6 に示した内容と同様の理由から、全回答者（有効回答のみ）の平均飲食消費額は「宿泊地欄の平均」に示してある 1,121 円と合致する。

#### (4) 立寄り地点数、滞在時間、宿泊地に関する分析

##### (ア) 立寄り地点数の分析

表 5-8 に各種属性と立寄り地点数の関係を示す。旅行形態においては、立寄り地点数に差はない。観光客の居住地に関しては、県内居住者か県外居住者かで差が見られ、県外居住者の方が、立寄り地点数が多くなっていることから、小布施町内において活発に活動していると言える。

来訪回数に関しては、「4 回以上」来訪している観光客と「1 回～3 回」来訪している観光客との間で差が見られ、来訪回数 4 回を境に観光客の行動範囲が狭くなると考えられる。

年代に関しては、40 代以下と 50 代以上において差が見られ、50 代以上の方が、立寄り地点数が多くなっていることから、小布施町内において活発に活動していると言える。

表 5-9 に来訪回数及び居住地と立寄り場所の関係を示す。表中の「割合」は各項目の回答者数を母数にしている。表中、グレーに塗りつぶしている箇所は、回答者の 50%以上が立ち寄った地点である。

表 5-8 属性別の立寄り地点数の平均

区分	区分内容	立寄り地点数
旅行形態	個人旅行	1.82
	団体旅行	1.79
	平均	1.81
居住地	長野県居住者	1.63
	県外居住者	1.86
	平均	1.82
来訪回数	1回	1.95
	2回	1.88
	3回	1.92
	4回以上	1.63
	平均	1.82
年代	10代	1.64
	20代	1.48
	30代	1.55
	40代	1.74
	50代	1.99
	60代	1.92
	70代	1.83
	平均	1.81

表 5-9 来訪回数及び居住地と立寄り地点の関係(複数回答)

来訪回数	居住地		1.岩松院	2.北斎館	3.浄光寺	4.高井鴻山記念館	5.おふせミュージアム	6.日本のおかり博物館	7.オープンガーデン	8.栗菓子店	9.フローラルガーデンおふせ	10.ハイウェイオアシス	11.千曲川ハイウェイミュージアム	12.その他	回答者数
1回	県内	度数(人)	26	29	2	7	5	4	2	33	5	17	0	6	997
	割合(%)	35.1	39.2	2.7	9.5	6.8	5.4	2.7	44.6	6.8	23.0	0.0	8.1		
1回	県外	度数(人)	357	506	45	95	75	37	20	407	37	183	7	83	997
	割合(%)	35.8	50.8	4.5	9.5	7.5	3.7	2.0	40.8	3.7	18.4	0.7	8.3		
2回	県内	度数(人)	7	13	0	0	2	1	0	14	2	2	0	4	38
	割合(%)	18.4	34.2	0.0	0.0	5.3	2.6	0.0	36.8	5.3	5.3	0.0	10.5		
2回	県外	度数(人)	122	172	12	38	26	17	11	176	16	82	3	33	410
	割合(%)	29.8	42.0	2.9	9.3	6.3	4.1	2.7	42.9	3.9	20.0	0.7	8.0		
3回	県内	度数(人)	13	18	2	4	2	2	3	26	4	11	1	3	52
	割合(%)	25.0	34.6	3.8	7.7	3.8	3.8	5.8	50.0	7.7	21.2	1.9	5.8		
3回	県外	度数(人)	93	131	11	21	15	12	8	125	15	83	3	25	294
	割合(%)	31.6	44.6	3.7	7.1	5.1	4.1	2.7	42.5	5.1	28.2	1.0	8.5		
4回以上	県内	度数(人)	70	60	18	10	16	8	10	79	31	266	16	33	420
	割合(%)	16.7	14.3	4.3	2.4	3.8	1.9	2.4	18.8	7.4	63.3	3.8	7.9		
4回以上	県外	度数(人)	153	182	20	31	22	29	10	212	17	320	8	74	677
	割合(%)	22.6	26.9	3.0	4.6	3.2	4.3	1.5	31.3	2.5	47.3	1.2	10.9		

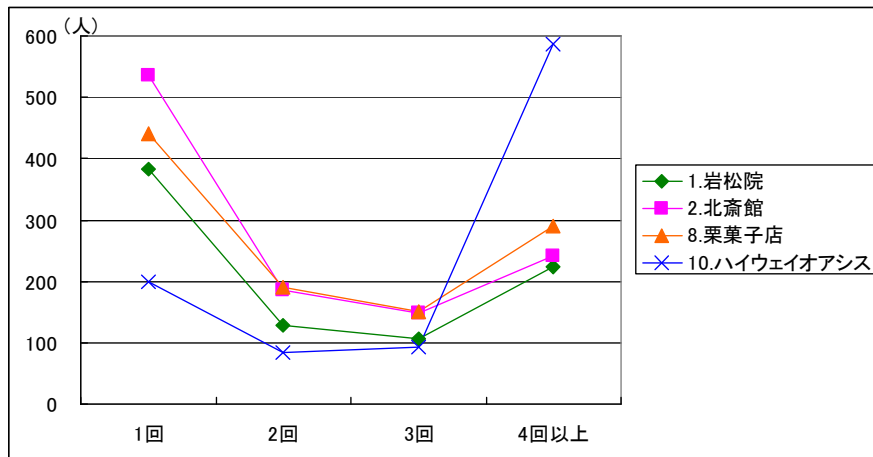


図 5-1 来訪回数と立寄り地点数の関係 (主な立寄り地点)

(イ) 滞在時間の分析

表 5-11 に属性別の平均滞在時間を示す。旅行形態及び居住地に関しては、立寄り地点数と逆の傾向にあり、個人旅行及び県内居住者の滞在時間が長くなっている。来訪回数や年代については、立寄り地点数と同じような傾向が見られ、「4 回以上」来訪している観光客は滞在時間が短くなる傾向にある。また、年代に関しては、20 代以下と 70 代以上において短く、40 代、50 代が比較的滞在時間が長くなっている。

なお、平均到着時刻は 11：40 分、平均出発時刻は 13：39 分、平均滞在時間は 1 時間 59 分であった。このデータを、平成 17 年に実施した「小布施町まちづくり観光動向アンケート調査」比較すると、平均到着時刻が 24 分早く（11:16 分着）、平均出発時刻はほとんど変わらない（13:41 分発）であることから平均滞在時間が 2 時間 25 分から 26 分程度短くなっている。

表 5-10 属性別の平均滞在時間

区分	区分内容	平均滞在時間	区分	区分内容	平均滞在時間
旅行形態	個人旅行	2:16	年代	10代	1:54
	団体旅行	1:45		20代	1:52
	平均	2:08		30代	2:04
居住地	長野県居住者	2:11		40代	2:18
	県外居住者	2:07		50代	2:14
	平均	2:08		60代	2:07
来訪回数	1回	2:14		70代	1:58
	2回	2:14	平均	2:08	
	3回	2:06	宿泊地	小布施外	1:59
	4回以上	1:59		小布施	7:52
	平均	2:07		平均	2:05

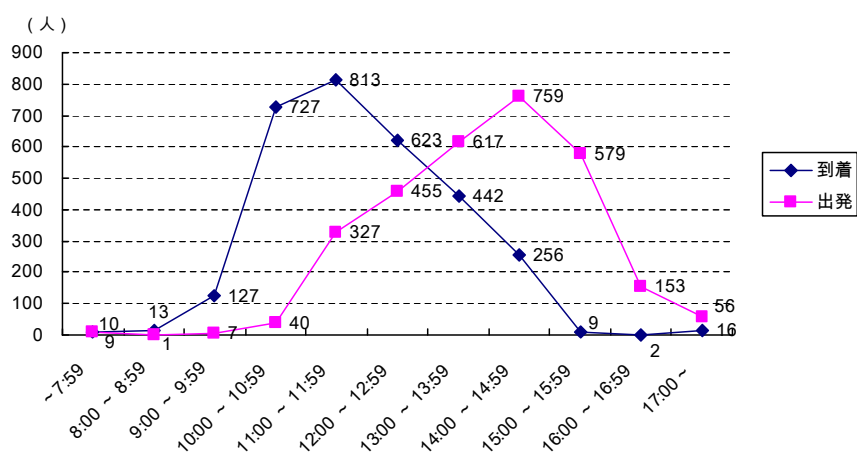


図 5-2 小布施町への到着時間・出発時間の分布

(ウ) 宿泊回数・宿泊地の分析

表 5-11 に観光客の宿泊日数を示す。平均宿泊日数は 1.0 日で、半数以上の観光客は 1 泊している。観光客の宿泊地を表 5-12 に示す。湯田中温泉が最も多く、次いで長野市、渋温泉、草津となっており、小布施町周辺に集中している。

各種属性と宿泊数の関係を示す。

宿泊数への影響は、居住地、来訪回数、年代などが影響していると考えられる。具体的には、県内居住者はほとんど宿泊していない。また、来訪回数が増えるほど宿泊日数が減っている。さらに 10 代、60 代、70 代の宿泊が多くなっている。

表 5-11 観光客の宿泊日数

宿泊日数	度数(人)	割合(%)
0	857	31.5
1	1,380	50.7
2	348	12.8
3	66	2.4
4回以上	70	2.6
合計	2,721	100.0

平均宿泊日数	1.0 日
--------	-------

表 5-12 観光客の宿泊地(1 泊目)

表 5-13 属性別の宿泊数

宿泊地	度数(人)
湯田中温泉	182
長野市	128
渋温泉	123
草津	114
志賀高原	81
上山田温泉	61
野沢温泉	59
万座温泉	53
小布施町	46
山田温泉	40
斑尾高原	36
松本市	33
白馬村	32
別所温泉	30
軽井沢町	30

宿泊地	度数(人)
新潟県妙高市	26
赤倉温泉	24
菅平	19
大町市	17
善光寺	16
新潟県佐渡市	15
竜王高原	14
蓼科	11
須坂市	11
諏訪市	10
仙仁温泉	10
新潟県上越市	10
その他(その他地域)	292
その他(市町村不明)	79
合計	1,602

区分	区分内容	宿泊数
旅行形態	個人旅行	0.99
	団体旅行	1.02
	平均	1.00
居住地	長野県居住者	0.20
	県外居住者	1.17
	平均	0.99
来訪回数	1回	1.17
	2回	1.12
	3回	1.00
	4回以上	0.77
	平均	1.00
年代	10代	1.96
	20代	0.77
	30代	0.87
	40代	0.90
	50代	0.96
	60代	1.10
	70代	1.13
	平均	0.99
宿泊地	小布施外	1.43
	小布施宿泊	1.47
	平均	1.43

次に、表 5-14 に小布施町に来訪する前日及び当日に宿泊した地点を示す。

前日と当日の双方でもっとも多いのが、「湯田中温泉」である。また、「渋温泉」「長野市」「草津」も双方において多い結果となっている。

これらの宿泊地は、小布施町を含めた観光ルートとなることが多く、小布施町との親和性が高いと考えられるため、特に連携を強め協力して集客を行うことが得策と考えられる。

表 5-14 前日及び当日宿泊地

No	宿泊地	前日宿泊地	当日宿泊地
1	湯田中温泉	54	23
2	渋温泉	38	18
3	長野市	35	17
4	草津	30	19
5	志賀高原	20	15
6	野沢温泉	19	7
7	上山田温泉	17	5
8	万座温泉	13	12
9	白馬村	12	4
10	斑尾高原	12	9
11	小布施町	10	9
12	新潟県妙高市	10	4
13	松本市	9	4
14	赤倉温泉	9	4
15	善光寺	8	2
16	軽井沢町	7	8
17	山田温泉	7	5
18	松代	7	3
19	別所温泉	7	2
20	新潟	6	2

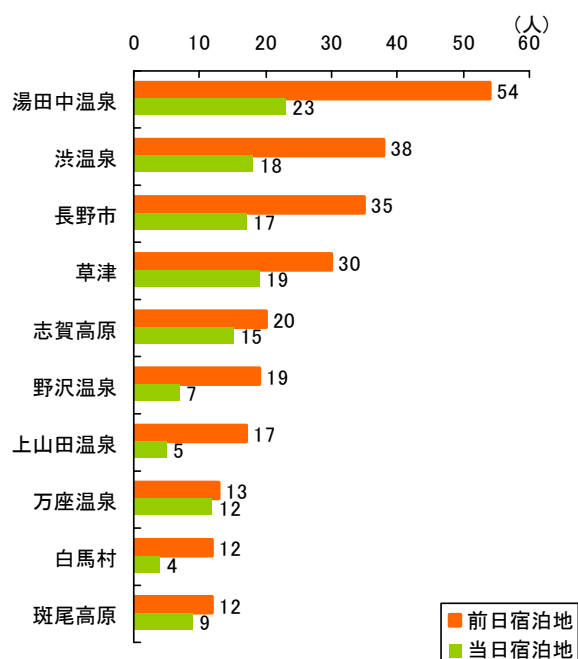


図 5-3 前日及び当日宿泊地 (上位 10)

### (5) 小布施町を訪れたきっかけ

小布施町を訪れたきっかけを表 5-15 に示す。また、「あてはまる」を 4 点～「あてはまらない」を 1 点として得点化したグラフ化したものが、図 5-4 である。

それぞれの項目において平均点が低い。このことは、本アンケートで設問したような外部の要因をきっかけとせず、内発的な欲求に基づいて小布施町を訪れている観光客が多いことを示している。

なお、訪問回数と訪問のきっかけの関連性も特に見られなかった。

表 5-15 小布施町を訪れたきっかけ

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	合計	平均値
1.観光ルートがあった	度数(人)	667	125	79	1836	2707	1.86
	割合(%)	24.6	4.6	2.9	67.8	100.0	
2.ポスターを見た	度数(人)	144	58	95	2373	2670	1.24
	割合(%)	5.4	2.2	3.6	88.9	100.0	
3.パンフレットを見た	度数(人)	259	75	83	2259	2676	1.38
	割合(%)	9.7	2.8	3.1	84.4	100.0	
4.テレビ番組を見た	度数(人)	239	64	99	2278	2680	1.35
	割合(%)	8.9	2.4	3.7	85.0	100.0	
5.観光雑誌を見た	度数(人)	273	99	94	2214	2680	1.41
	割合(%)	10.2	3.7	3.5	82.6	100.0	
6.雑誌(観光以外)を見た	度数(人)	142	71	91	2356	2660	1.25
	割合(%)	5.3	2.7	3.4	88.6	100.0	
7.インターネット上で見た	度数(人)	180	42	82	2358	2662	1.27
	割合(%)	6.8	1.6	3.1	88.6	100.0	
8.友人から薦められた	度数(人)	468	79	70	2086	2703	1.60
	割合(%)	17.3	2.9	2.6	77.2	100.0	
9.旅行中にたまたま見つけた	度数(人)	310	74	58	2257	2699	1.42
	割合(%)	11.5	2.7	2.1	83.6	100.0	
10.特にきっかけはない	度数(人)	539	52	44	1931	2566	1.69
	割合(%)	21.0	2.0	1.7	75.3	100.0	

※平均値は、「あてはまる=4」～「あてはまらない=1」として算出

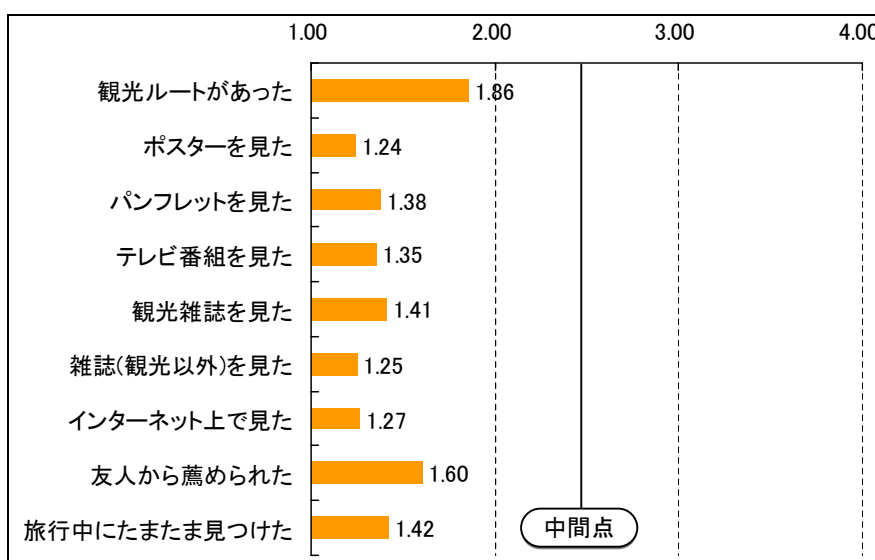


図 5-4 小布施町を訪れたきっかけ (点数化)

## (6) 小布施町を訪れた目的

小布施町を訪れた目的を表 5-16 に示す。

小布施町を訪れた目的として多く挙げられたのが「飲食」「特産品などの買物」である。これは、全回答者（3080 人）の約 12%にあたる。小布施町での飲食や特産品が浸透しており、多くの観光客を呼び込むコンテンツとなっていることが伺える。次に多く挙げられたのは「ツアーでたまたま」であり、会社、自治会、サークル等のツアーに参加したら、たまたま行き先に小布施が組み込まれていたという観光客も多い。次いで「町並み散策」「休憩」「公園／子どもを遊ばせる」「名所・旧跡の散策」となっている。

表 5-16 訪問目的

訪問目的	度数
飲食	363
特産品などの買物	362
ツアーでたまたま	313
町並み散策	232
休憩	220
公園／子どもを遊ばせる	188
美術館・博物館めぐり	168
名所・旧跡の散策	153
自然や風景を楽しむ	42
イベントへの参加	0
その他	629

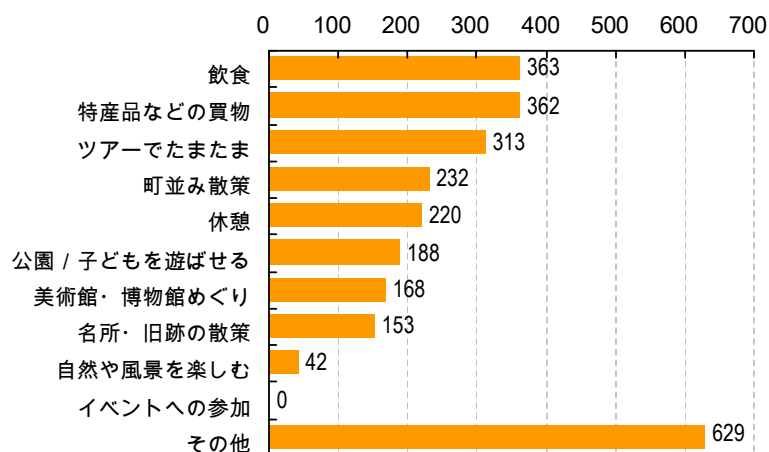


図 5-5 訪問目的

小布施町を訪れた目的と一番楽しみにしていた観光地（主目的地）とのクロス集計を図5-6に、小布施町を訪れた目的と旅行形態を図5-7に示す。

来訪目的を主目的地別に比較をすると、小布施町を主目的地として来訪した観光客は、小布施町を主目的地としない観光客と比べると「町並みを楽しむ」「公園／子どもを遊ばせる」が来訪目的となることが多い傾向にある。小布施を主目的地として来訪する観光客には、「町並み」が訴求のポイントとなりうることを示している。なお、「公園／子どもを遊ばせる」は、大部分がハイウェイオアシスへの来訪である。

また、旅行形態ごとに訪問目的を見ると、個人旅行では「特産品などの買物」「飲食」「町並み散策」などの目的が多い傾向にあり、逆に、団体旅行では「ツアーでたまたま」が圧倒的に多いことがわかる。ツアー観光客が北斎館前で時間をもてあそぶ姿がかなり見られるため、そうした観光客に対して、具体的に小布施町で何ができ、何を購入できるのかを伝える仕組みが必要と考えられる。

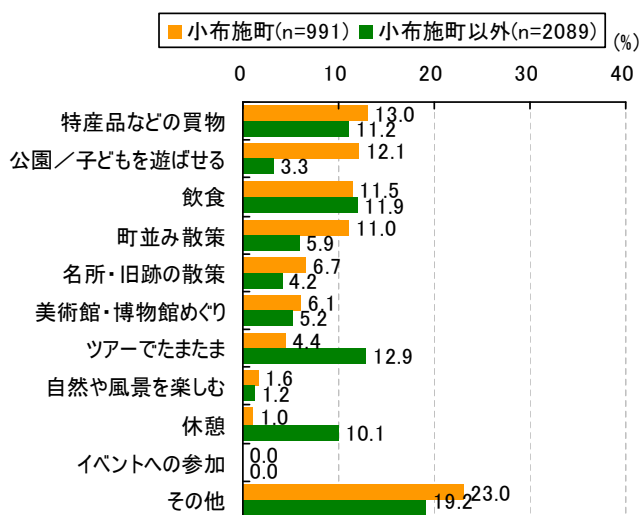


図 5-6 訪問目的×主目的地

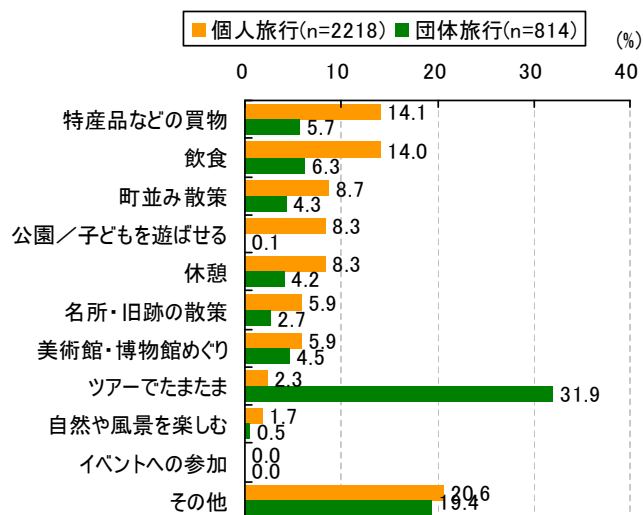


図 5-7 訪問目的×旅行形態

### 5-3 観光客行動分析の総括

今回の分析は、観光客の行動と消費活動の関係を中心に実施した。

その結果、観光客の立寄り地点数、滞在時間、来訪回数などは、消費に影響を与えないことが明らかになった。つまり、現時点における小布施町の商品やサービスでは、立寄り地点数や滞在時間を延伸させても、消費が増えない可能性が強いことを示している。この理由としては、観光客は、購入する物をほぼ決めており、それを1箇所（北斎館周辺と推測される）で購入していると考えられる。

観光消費を向上させる方法はいくつか考えられる。そのひとつとして、新たな商品やサービス（宿泊など）を開発して消費意欲を刺激し、従来の購入物プラスアルファで購入してもらうことが考えられる。しかし、新製品開発は民間事業者の自主的な取組みにまかせるべきであり、行政としての支援は、消費者情報の収集と提供など側面的なものとなる。

行政として支援できることとしては、そうした新たな消費を生む商品やサービスの方向性を定めるのに資する観光客データの提供がある。本調査においても、長野県居住者は、県外居住者の約半分程度の消費しか行っていないこと等がわかってきている。こうした属性の違いによる観光行動の差を詳細に分析し、属性に適した商品やサービスの方向性を示していくことが可能である。

また、北斎館周辺以外で製造・販売されているもののPRも考えられる。新たな消費を喚起するために、これまで観光客にあまり購買されていなかった商品・サービスの知名度の向上につながる事業を実施する。さらに、このような商品の北斎館周辺やハイウェイオアシスでの販売も考えられる。販売チャネルを確保することで、消費者が購入しやすい環境をつくり出す。しかし、この方法をとると、観光客の回遊性（立寄り地点数）は低減することが考えられるため、現在、小布施町が実施している施策との整合性を図る必要性がある。

これら以外の方法としては、単純に観光客を増やすことで、町全体での消費額の向上が図れる。ただし、小布施町は小さなまちであり、市街地中心部における観光客のキャパシティ（適正規模）はそれほど多くないと考えられる。適正規模以上の観光客が訪れれば、観光客の満足度が下がることも予測されるため、観光エリアの郊外化、例えば、農村部における観光資源を開発し、観光客を農村部に誘導するなど、小布施町内において適正に観光客数を分散することも必要と言える。

### 【参考データ：長野県との比較】

本調査では、小布施町内における観光客数、観光経済波及効果及び観光行動について明らかにしてきた。しかし、小布施町の観光をより発展させるためには、他の観光地との比較において観光活性化策の検討を行うことも重要である。

長野県では、毎年度「観光地利用者統計調査」を実施しており、その中で、主な観光地点の観光客数<sup>11</sup>、観光消費額、一人あたりの観光消費額<sup>12</sup>等を発表している。データ収集の方法や観光客数の捉え方等において本調査とは異なる思想で算出されているため、一概に比較をすることはできないが、参考データとして以下に記載する。

表 5-17 に示すのは、長野県全体の観光客数、観光個消費額、一人あたりの消費額、平均宿泊日数である。

表 5-17 長野県の観光客数、観光消費額、一人あたりの消費額、平均宿泊日数の比較

単 位	観光客数 (千人)	観光消費額 (百万円)	一人あたりの消費額(交通費除く)			平均宿泊日数 日
			宿泊客 (円)	日帰り客 (円)	全体 (円)	
長野県	90,734	331,058	5,838	2,610	3,649	1.24

出典：(長野県データ)観光地利用者統計調査／長野県  
※長野県の観光客数は、延利用者。

しかし、先述したとおり、データ算出の方法が異なるため、そのまま小布施町との比較をすることはできない。よって、データの補正<sup>13</sup>を行い、小布施町との比較を行う。

データの補正を行ったものが、表 5-18 である。

表 5-18 観光客数、観光消費額、一人あたりの消費額、平均宿泊日数の比較

単 位	観光客数 (千人)	観光消費額 (百万円)	一人あたりの消費額			平均宿泊日数 日
			宿泊客 (円)	日帰り客 (円)	全体 (円)	
小布施町	765	11,646	19,983	3,215	4,019	1.00
長野県	90,734	331,058	13,077	2,610	4,439	1.24

出典：(長野県データ)観光地利用者統計調査／長野県を加工  
※※長野県の観光消費額では、交通費は「最寄り駅から観光施設へのバス代」のみの計上となっているため、小布施での消費額は交通費を含まない町内消費のみとする。  
※※※小布施町の宿泊客の消費額は、小布施内での宿泊を対象とする

<sup>11</sup>観光地利用者統計調査では、観光客数は、延利用者数として公表されている。延利用者数は、日帰り客＋宿泊客の延数（1人が1泊した場合、延数では2人とカウントする）によって算出されている。

<sup>12</sup>観光客数を、延利用者数として公表しているため、一人あたりの観光消費額は、「一人1日あたりの観光消費額」として算出されている。

<sup>13</sup>観光客延利用者数を実数に変換するために、延宿泊客数を「平均宿泊日数＋1」で除し観光客実数を算出。観光客実数をベースに、一人あたりの消費額を算出し直した。

一人あたりの消費額を見ると、宿泊客、日帰り客では小布施町が長野県よりも多いことがわかり、観光客の消費を促す商品やサービスの提供ができていることがわかる。しかし、宿泊客、日帰り客を含めた全体の消費額は、長野県の方が多くなっている。これは、小布施町で宿泊する観光客が非常に少ないため、宿泊客の多い長野県と比べると、全体としては消費額が少なくなってしまうということを示している。このことから、小布施町の観光を更に発展させるには、宿泊施設を確保することが必要であることがわかる。

今後は、こうした他観光地との比較等を視野に入れながら、小布施観光の更なる飛躍を促す観光振興策の立案・実施をしていくことが求められる。

## 添付資料

### 聞き取り調査 調査票

<b>小布施町 観光経済波及効果測定調査票</b>				
<b>問1 今回の旅行行動全般についてお伺いいたします。</b>				
① 今回の旅行で立寄った観光地（地名）、宿泊地、宿泊日数、小布施町への到着曜日を記入してください。 <small>※観光地を矢印（→等）でつなぎ、出発地には（出）、宿泊地には、（泊）をつけてください。また、一番楽しみにしていた観光地に○印をつけてください。</small>				
<small>例）横浜（出）→善光寺→戸隠→長野市内（泊）→<b>小布施</b>→長野市→横浜（出）</small>				宿泊日数 _____ 日
<small>※小布施町への来訪をもともと予定していましたか？（ 予定していた 予定していなかった ）</small>				到着曜日 _____ 曜日
② 小布施町にやってきた交通手段を教えてください。（利用したものすべてに○）				
(1) 自家用車・バイク      (2) 鉄道      (3) 循環バス      (4) 高速バス      (5) 貸切バス (6) レンタカー      (7) タクシー      (8) 自転車      (9) 徒歩      (10) その他 ( _____ )				
③ 今回の旅行形態と旅行代理店利用の有無を教えてください。（○をひとつだけ）				
(1) 個人旅行      (2) 団体旅行      ※旅行代理店利用の有無 (1. 利用した      2. 利用していない)				
④ 同伴者について教えてください。（○をひとつだけ記入し、人数を記入）				
関係： (1) ひとり      (2) 夫婦      (3) 家族(夫婦以外)      (4) 友人      (5) 恋人 (6) 団体      (7) その他 ( _____ )      同伴者人数： _____ 名 (本人含む)				
⑤ 小布施町に来たのは何回目ですか？ <input style="width: 50px;" type="text"/> 回目				
⑥ 小布施町での滞在時間はどのくらいですか？ （到着） _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分頃 ～ （出発） _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分頃				
⑦ 小布施町で、立寄った、または立寄る予定の観光施設はどこですか？（複数回答）				
(1) 岩松院      (2) 北斎館      (3) 浄光寺      (4) 高井鴻山記念館 (5) おぶせミュージアム      (6) 日本のあかり博物館      (7) オープンガーデン (8) 栗菓子店      (9) フローラルガーデンおぶせ      (10) ハイウェイオアシス (11) 千曲川ハイウェイミュージアム (12) その他 ( _____ )      立寄り地点数計 _____ 箇所				
<b>問2 今回、小布施町を訪れた目的について、以下の項目ごとにお答えください。</b>				
① 今回、小布施町を訪れるきっかけとなったものは何でしたか？ 次の項目ごとに「あてはまる」～「あてはまらない」までの4段階でお答えください。				
	あてはまる	あてはまる やや	あてはあまり まらない	あてはまらない
(1) 小布施町を中心にした観光ルートがあったこと	1	2	3	4
(2) 小布施町のポスターを見たこと	1	2	3	4
(3) 小布施町のパンフレットを見たこと	1	2	3	4
(4) 小布施町を紹介するテレビ番組を見たこと	1	2	3	4
(5) 小布施町を紹介する観光雑誌を見たこと	1	2	3	4
(6) 小布施町を紹介する雑誌（観光以外）を見たこと	1	2	3	4
(7) 小布施町の情報をインターネット上で見たこと	1	2	3	4
(8) 友人などから小布施町を薦められたこと	1	2	3	4
(9) 旅行中にたまたま小布施町を見つけたこと	1	2	3	4
(10) 特にきっかけはない	1	2	3	4
(11) その他のきっかけ ( _____ )				

（裏面につづく）

(問2つづき)

②小布施町を訪れた理由は何ですか？(自由記述)

例) 北斎館に行きたかったから/町並み散策をしたかったから

問3 消費実態についてお伺いします。

①ご自身で負担した公共交通費はいくらですか？

交通費 合計(往復) \_\_\_\_\_円

②ご自身で負担した交通関係費はいくらですか？

(1) ガソリン代 合計 \_\_\_\_\_円(長野県内での給油分のみ)

(2) ツアー料金 合計 \_\_\_\_\_円

(3) 駐車場代 合計 \_\_\_\_\_円

③小布施町における宿泊費はいくらですか？

宿泊費 合計 \_\_\_\_\_円

④小布施町における飲食費はいくらですか？

飲食費 合計 \_\_\_\_\_円

⑤小布施町における美術館・博物館などの施設利用料金はいくらですか？

施設利用料金 合計 \_\_\_\_\_円

⑥小布施町における製品や産品などの購入費はいくらですか？

(1) 野菜・果物などの農作物や花きの購入 合計 \_\_\_\_\_円

(2) 菓菓子などの購入 合計 \_\_\_\_\_円

(3) 酒など食料品の購入 合計 \_\_\_\_\_円

(4) その他の製品や産品などの購入 合計 \_\_\_\_\_円

(具体的に: 例: キーホルダーの購入など \_\_\_\_\_)

⑦その他サービスの利用 合計 \_\_\_\_\_円

(具体的に: 例: 観光ガイドの利用など \_\_\_\_\_)

【記入上の注意】

● 支払った金額を全て記入してください。

● 複数人分の代金をひとりで支払った場合は、その金額を含めた合計金額を記入してください。

● 宿泊や施設見学など、消費することが決まっているものは記入してください。

⑧ハイウェイオアシスに立寄った方は、以下の店舗のうち、利用したものに○印をつけてください。

(1) 食事処 (2) 土産処 (3) 屋台(ソフトクリームなど) (4) 飲食・買い物をしていない

問4 小布施町にあれば良いと思うサービスなどご意見ご要望があればお聞かせください。(自由記述)

問5 あなたご自身のことについてお伺いします。

①性別

(1) 男性 (2) 女性

②年齢

(1) 10代 (2) 20代 (3) 30代 (4) 40代 (5) 50代 (6) 60代 (7) 70代以上

③お住まい

\_\_\_\_\_都道府県 \_\_\_\_\_市区町村

④職業

(1) 自営業 (2) 会社員・団体職員 (3) 主婦・主夫 (4) 学生

(5) アルバイト・パート (6) 無職 (7) その他( \_\_\_\_\_ )

長時間のご協力ありがとうございました。

春 夏 秋 冬